

## 人間と環境との調和的共生を目指して

いま、私たちが暮らしている地球の環境を見つめてみましょう。原始生命は海で生まれ数十億年をかけて地球上のあらゆる場へ進出してきました。しかし今日、地球は汚染物質にまみれ、その自浄能力・再生能力の限界に近づきつつあり、環境崩壊の危機を迎えています。地球は未来からの借りものであり、私たち人類とすべての生物種にとって共通の家なのです。未来の世代の可能性をそこなうことなく、私たちは現在の世代のニーズを満たすことのできる社会（持続可能な社会）を創成していかねばなりません。人間（ヒト）を含む生物と環境との調和的共生を実現するため、私たちは、すべての生活の舞台である地球上で展開される森羅万象の循環と再生のメカニズムを知り、共存・共栄を可能とする方策を必要としています。

私たちの生活様式や社会経済活動はこれまで大量生産、大量消費、そして大量廃棄によって支えられてきました。このしくみをもつ社会は産業公害問題、さらに都市型・生活型の環境問題に悩まされてきましたが、それらに対しては公害対

策基本法による対策が重要な役割を担っていました。しかし現在では、地球の温暖化、オゾン層破壊など地球規模の環境問題が深刻化し、局地的な対策・規制だけでは対処しきれいていません。人間の生命活動そのものが環境負荷を与えていることを私たちは自覚しなければならないのです。新たな環境基本法は、社会の構成員すべてが加害者であると同時に被害者であることを自覚し、自主的、積極的な行動をとることを訴えています。そして、健全で恵み豊かな環境を維持しつつ、環境への負荷の少ない持続的発展が可能な社会を構築することを、その目的に掲げているのです。

これからは人間（ヒト）を含む生物と環境との調和的共生を目指し、常に環境負荷低減を配慮したライフスタイルが重要なのです。

以上のような課題のもとに、長崎大学環境科学部は地球環境の保全と人間社会の環境調和的な持続的発展を可能にするため教育と研究をおこなっています。

### 地球規模の環境問題

#### 産業・生活関連

- エネルギー系環境問題  
気候変動・地球温暖化・酸性雨
- 非エネルギー系環境問題  
オゾン層破壊・有害廃棄物の越境移動・海洋汚染

#### 自然生態系環境問題

森林破壊・砂漠化・野生生物種減少

#### 発展途上国の諸問題

人口爆発・食糧危機・自然資源の破壊

### 地域の環境問題

#### 従来型産業公害問題

森林破壊・水質汚濁・土壌汚染・騒音・振動

#### 自然生態系環境問題

自然環境破壊・自然災害・乱獲

#### 都市型・生活環境問題

廃棄物問題・乱開発・都市景観破壊  
文化遺産破壊・大気汚染・生活排水

### これからの環境問題

社会の構成員全ての問題

地球規模の汚染

次世代への影響

不確かな因果関係と発生メカニズム

経済活動から不可避免的に発生

# 文理融合の環境教育と 問題解決型環境スペシャリストの養成

**環**境科学部は、地球環境問題の自然科学的側面と、人文・社会科学側面とを教育・研究対象としています。この学部では文理融合の基礎教育をもとに、自然環境の複雑なメカニズムや社会・文化システムを学び、その上でライフサイクルでの環境配慮を実践する方策を学びます。

**さ**らに環境科学部は、限りある自然環境のなかで、他の生物種や自然環境と共生、共存していけるような人間社会の環境調和的発展を推進するための、より高度な応用研究を進めます。

**環**境科学部は、人間の諸活動が地球や地域の環境に及ぼす影響を評価・改善するマネジメントシステムや環境監査

ISO14001に積極的に関与します。これを通じて、企業及び行政等における環境対策のプロとして活躍できる人材を育成します。

**環**境科学部の教育は、環境問題の社会的、文化的、自然的側面を自ら調査・分析し、講義で得られた知識を生かすフィールドワークを重視します。地球環境問題を多面的に理解し評価する能力（環境情報処理能力を含む）や、適切な方策を講じ問題を解決していく実践的能力を養うことにより、グローバルな視野をもつ環境スペシャリストを養成します。また、アジア・太平洋地域の教育研究機関で国際環境研修を実施し、グローバルに活躍できる人材を育成します。

